

2014年合格目標 20ヵ月本科生<スタンダード>

無料公開セミナー&講座説明会

『20ヵ月本科生』カリキュラム概要』

担当講師 司法書士 土屋 武大

1. 20ヵ月本科生<スタンダード>について

(1) 特長

- ①法律を初めて勉強する方でも無理なく受講可能
- ②週2日ペース
- ③インプットのみならずアウトプットも意識したカリキュラム
- ④実務を踏まえた生きた講義

(2) 構成

- ①基礎講座（主要4科目編）
- ②基礎講座（マイナー科目編）
- ③ミニテスト
- ④トレーニング
- ⑤記述式演習講座
- ⑥基礎・応用演習
- +α（択一予想論点マスター講座、ジャンプ答練、全国公開模試・解説講座）

(3) 『20ヵ月』という期間の意味

- ①20ヵ月間を勉強の進行度に応じて区分する
 - ⇒ペース配分に十分注意する
 - ⇒後半に向かうに連れて比重が大きくなる
- ②焦りは禁物、後になって理解できることも少なくない
- ③直前期の重要性

2. 講座を受講さえすれば合格できるのか

3. 膨大な分量を克服するには

4. 『基礎講座』とは

- (1) 20ヵ月本科生の要
- (2) 合格に必要な知識を習得する
- (3) 具体的事例を通じた学習
- (4) 『基礎講座』を受講するにあたってのポイント
 - ① 予習は不要
 - ② 『問題の所在を明確にすること』！！
 - ③ 講義中は細かい点の記憶に気を取られない
 - ④ 徹底的に復習する
 - ⇒ 『ミニテスト』、『トレーニング』を活用する
 - ⇒ 過去問へのアプローチ
 - ⑤ 横断的に学習する

5. 『記述式演習講座』とは

- (1) 記述式とはいかなるものを学ぶ
 - ⇒ 特殊な技能が求められるわけではない
 - ⇒ 雛形をただ覚えるものでもない
- (2) 合格答案が書けるレベルへ
 - ⇒ 実戦力を養うため講義時間中に問題演習を行う
- (3) 『記述式演習講座』を受講するにあたってのポイント
 - ① 記述式と択一式の関係
 - ② 総合力を身に付ける

6. 『基礎・応用演習』とは

(1) 実戦力養成

⇒実際に問題演習を行い、知識の使い方を習得する

(2) 『基礎・応用演習』を受講するにあたってのポイント

①正解に到達する方法論を学ぶ

②正解・不正解だけに一喜一憂しない

③時間の感覚を磨く

④本試験当日をイメージする

7. 択一予想論点マスター講座、ジャンプ答練、全国公開模試・解説講座について

8. 講義方針

(1) 条文・過去問の重視

(2) 制度趣旨を明らかにする

(3) 理解と記憶

(4) 常に全体像を意識する

(5) しっかりとした知識の定着

(6) 合格に必要な知識の線引き

(7) 好きこそ物の上手なれ

9. 短期合格に必要なものとは

⇒『整理された正確な知識』&『強い信念と明確な目的意識』